

事前評価個表

整理番号	1
------	---

事業名	特定中山間保全整備事業	都道府県名	北海道
事業実施地区名	<small>みなみふらの</small> 南富良野区域	事業実施主体	緑資源機構
		事業計画期間	平成20年度～平成24年度
事業の概要・目的	<p>本事業は、石狩川水系空知川に建設された特定多目的ダム「金山ダム」上流に位置する北海道南富良野町を対象として、水源林造成(94ha)、分収育林(164ha)、区画整理(496ha)、暗渠排水(15ha)、除礫(21ha)、農業用排水施設整備(22.2km)、林地転換(2ha)、鳥獣害防止施設(37.4km)の整備を一体的に実施するものである。</p> <p>本事業の目的は、森林整備や農用地整備、土地改良施設整備等を一体的に行い、農林業の振興、森林及び農用地の有する公益的機能の維持増進を図るものである。</p>		
費用対効果分析 (林業部門)	総費用 (C)		226 百万円
	総便益 (B)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・森林整備による水源かん養便益 335 百万円 ・森林整備による山地保全便益 256 百万円 ・森林整備による環境保全便益 252 百万円 ・森林整備による木材生産便益 49 百万円 <li style="text-align: center;">計 891 百万円 		
分析結果 (B/C)		3.95	
(参考) 費用対効果分析 (農業部門)	総費用 (C)		2,631 百万円
	総便益 (B)		3,170 百万円
(現在価値化)	分析結果		1.20
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性 本区域の林業は、木材価格の低迷や従事者の高齢化等の理由により管理不十分な森林が増加しており、水源かん養等の公益的機能の低下が危惧されている。また、農業は、にんじんを中心とした大規模畑作営農が展開されているが、傾斜農地であることや用水施設の整備が不十分であることから農作業効率が低く、耕作放棄されている農地もあり、事業の必要性が認められる。 ・効率性 費用対効果分析を行った結果、費用以上の効果が認められることから、事業の効率性が認められる。 ・有効性 本事業の実施により、森林整備や農用地整備及び土地改良施設整備等を一体的に行うことによって、林業部門においては、水源かん養機能の向上(約335百万円相当)、山地の保全(約256百万円相当)などが図られることから、事業の有効性が認められる。 		

(注1) 百万円単位で四捨五入しているため、数値は算定結果と合わない場合がある。

(注2) 数値は緑資源機構法に基づく法手続きを経て確定するため、現時点では暫定値である。